

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保存して下さい。

第②類医薬品

イブプロフェンを配合した解熱・鎮痛剤

セダックス®錠

特徴

セダックス錠は、イブプロフェンを配合した解熱・鎮痛剤で、痛みや発熱の原因となる物質（プロスタグランジン）を抑え、優れた解熱・鎮痛作用をあらわします。



使用上の注意



してはいけないこと

- （守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）
次の人は、服用しないこと
（1）本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
（2）本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
（3）15才未満の小児。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気があらわれることがある。）
- 服用時は飲酒しないこと
- 長期連用しないこと



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること
（1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。
（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
（3）授乳中の人。
（4）高齢者。
（5）本人又は家族がアレルギー体質の人。
（6）薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
（7）次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
（8）次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること
（1）服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、むくみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	目のかすみ、耳なり

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、やけど様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
ぜんそく	

- （2）5～6回服用しても症状がよくならない場合
- 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること
便秘、下痢

（裏面につづく）

〔効能・効果〕

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・生理痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

〔用法・用量〕

1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用して下さい。服用間隔は4時間以上おいて下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人（15才以上）	2錠	3回を限度とする
15才未満	服用しないこと	

＜用法・用量に関連する注意＞

- （1）用法・用量を厳守すること。
- （2）錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、錠剤を取り出して服用して下さい。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



〔成分・分量〕

1回量（2錠）中

有 効 成 分		含 量	は た ら き
解熱・鎮痛薬	イブプロフェン	150mg	発痛・発熱物質を増強するプロスタグランジンの合成を阻害します。
鎮痛・鎮静薬	アリルイソプロピルアセチル尿素	60mg	痛みからくる神経の高ぶり、イライラ、不安感等を鎮めます。また、イブプロフェンの鎮痛効果を高めます。
中枢興奮薬	無水カフェイン	80mg	血流をよくし、各成分の吸収を高めるとともに、気分をすっきりさせます。

添加物として白糖、セルロース、カルメロースCa、ヒドロキシプロピルセルロース、硬化油、ステアリン酸Mg、乳糖水和物、エチルセルロース、マクロゴール、タルクを含有します。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- （2）小児の手の届かない所に保管すること。
- （3）他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- （4）使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれる等、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

日邦薬品工業株式会社 お客様相談室 電 話：03(3370)7174(代表)

受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

発 売 元 日邦薬品工業株式会社
東京都渋谷区代々木3-46-16

製造販売元 牛 津 製 薬 株 式 会 社
佐賀県小城市牛津町下砥川1-2